

令和2年度社会福祉法人北上市社会福祉協議会事業報告

I 総括

令和2年度は、北上市地域福祉計画と一体性をもって策定した当協議会の「第4次北上市地域福祉活動計画（2019～2023年度）」の2年度目であり、各種事業の具体的な着手と本格的な展開に取り組みました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されたことにより大きな影響を受けました。

取組み事業のうち、新規事業としては、子どもの学習支援事業において進路選択の一助となるよう進路相談会を開催したほか、市内の全17法人の参加により「北上市社会福祉法人連絡会」を設立することができました。また、前年度からの開始事業では、ひきこもり支援事業において「北上市ひきこもりネットワーク協議会」への参画を通じた協議や検討の結果、次年度のひきこもりサポート事業の開始につなげることができたほか、買い物支援事業では、事業者情報の収集整備を進めました。このほか、災害公営住宅の入居者同士や近隣住民とのコミュニティ支援や、岩手県社会福祉協議会の支援のもとでの災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施などにも取り組み、成果を上げることができました。

なお、新型コロナウイルス感染症に対しては、全事業において感染予防対策を講じての実施に努めましたが、市民福祉大会、福祉成人祝賀会、ふれあいデイサービス事業、障がい者リフレッシュ事業など多くの事業で、やむなく中止や回数の制限、内容の縮小をせざるを得ない結果となりました。

一方、コロナ禍で生活に困窮した方からの相談が大幅に増加しましたが、なんでも心配ごと相談センター及び暮らしの自立支援センターでは、生活福祉資金特例貸付制度の紹介・活用及び関係機関との連携による支援を行いました。また、地域まるまる食堂事業では、ボランティアのご協力により一堂型の食事を弁当の配布に替えて実施できたほか、小地域ネットワーク事業では、コロナ禍にあっても訪問、見守り等を適確に行っていただき、前年度を上回る活動回数となりました。

当協議会の事業にご支援を頂いた地域の皆様、民生委員、児童委員、福祉協力員、福祉、医療、保健、ボランティア、企業など多くの皆様に感謝申し上げます。

なお、財務面では、過年度消費税の申告納付があったものの、単年度収支が前年度よりも改善されました。しかし、今後も厳しい状況が想定されたことから、更なる改善に向けた方向性を定めましたので、順次、取組みを実施して参ります。

以上のほか、具体の事業報告は、北上市地域福祉活動計画で取り組む4つの基本目標及び地域福祉を推進するための基盤づくりの次の5項目に基づき行います。

- 1 地域福祉を担う人づくり
- 2 地域福祉を支えるネットワークづくり
- 3 充実した福祉サービスの仕組みづくり
- 4 暮らしやすい地域環境づくり
- 5 地域福祉を推進するための基盤づくり